



文化博物館だより

第440号

2015年1月17日

みなさん、新年あけましておめでとうございます。2015年最初の「博物館だより」をお届け致します。

今回の博物館だよりは、1月4日(日)より開催中の新春特別企画展「岩合光昭写真展『ねこ』」のイベントとして行われたサイン会の様子をお伝え致します。



岩合光昭サイン会(アーティスト・トーク付)



1月12日(月・祝)に岩合光昭氏のサイン会が11時と14時の2回行われました。

当日は各回約100名のお客様が参加され、皆さん緊張した様子で開始時間まで静かに待機し、岩合氏が登場すると客席からは自然と拍手と歓声が起こっていました。トークでは、今回の写真展に出展されている作品から何点かをピックアップし、それを見ながら撮影時のエピソードを詳しく楽しく優しい口調でお話しされました。熊本県・山都郡で撮影された「ネコとヒトの喜びが一緒になりますように。」と付けられた作品では、おんぶされた猫が岩合氏のことが気になってカメラの方へ顔を向けてくることや、その後ろを20匹ほどのねこ達がついて歩くというエピソードを披露。また、一緒に暮らしていた「海ちゃん」については「展覧会などで、海ちゃんのコーナーがあってもあまり見ないようにしている。それは、見ると目頭が熱くなるから。」と話されたことが印象的でした。どのお話でも猫のことをとても理解され「ねこ様次第」を大切にされている岩合氏らしい、ねこの視線に立った温かいお話しでした。

サイン会では、緊張気味のお客様に対して温かく声をかけ、丁寧にサインし一人一人としっかり握手をし、目をみて挨拶されていた姿に氏の人柄が表れていたと思います。

岩合氏のねこに対する愛情を存分に堪能できる時間となりました。

現在開催中(2月8日まで)

新春特別企画展

「岩合光昭写真展『ねこ』」

大人：1,000円、大高生700円、中学生以下無料

詳しい展覧会情報は
当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com>
次回の「博物館だより」をお楽しみに。